

2024 年度第 4 回学校用務員部会幹事会

I. 出席確認

吉村 秀則 現業局長 (大阪府本部・大阪市従業員労働組合)
 清水 守 現業評議会副議長 (福井県本部・福井県庁職員組合)
 原田 真和 現業評議会常任幹事 (北海道本部・札幌市役所労働組合)

出欠	役職	県本部	名前	単組
	部会長	岡山	森田 俊範	岡山市現業労働組合
	幹事	北海道	樋山 直寛	苫小牧市役所職員労働組合
	幹事	福島	大河内 学	福島市役所職員労働組合
	幹事	千葉	照井 健太郎	千葉市職員労働組合
	幹事	石川	岡本 竜介	金沢市役所職員組合
	幹事	愛知	伊藤 達生	自治労名古屋市労働組合
	幹事	兵庫	村上 誠	尼崎市職員労働組合
	幹事	鳥取	牧田 博史	倉吉市職員労働組合
	幹事	高知	佐々木 将来	高知市職員労働組合
	幹事	宮崎	甲斐 健悟	宮崎市役所職員労働組合

II. 報告事項

1. この間の取り組み報告について P2
2. 2024現業・公企統一闘争について P3
2. その他 P3

III. 協議事項

1. 地連報告について P4
2. 2025年度第 1 次政府予算要請行動について P4
3. 学校用務員部会運動方針について P4
4. 災害時に現業職員が力を発揮するための5つの提言について P4
5. 通信環境の整備について P4
6. 2025年度学校用務員部会体制について P5
7. 当面の日程及びその他 P5

【報告事項1】 この間の取り組み報告について

(1) 第3回全国幹事会

現業評議会は、5月11日にウェブにて第3回全国幹事会を開催し、傍聴者を含め、97人が参加した。また全国幹事会終了後には2024現業・公企統一闘争決起集会を開き、単組の取り組み事例を共有するとともに、第1次闘争の推進にむけた取り組みについて認識一致を図った。

全国幹事会では4月16日に実施した総務省要請について報告するとともに、議案では当面の闘争方針(案)や昨年12月に実施した「現業職場から労働災害を一掃するための職場集会」の総括と今後の集会のありかたなどについて提起し、質疑討論ののち、すべての議案について確認した。

2024現業・公企統一闘争決起集会では、単組取り組み事例として山形県本部酒田市職員労働組合から新規採用の取り組み、福岡県本部自治労大牟田市職員労働組合から官民連携における災害時の取り組みの報告がされた。

(2) 2024年度第2回担い手育成連続講座

自治労現業評議会は6月1日から2日にかけて自治労会館で第2回担い手育成連続講座を開催した。

1日目は、岸まきこ組織内議員を講師に招き「現業評議会の課題と国会での取り組み」と題した講座が開かれた。岸議員は行政改革により現業職員が減少した結果、現場力が低下し、加えて災害リスクが高まっていることを指摘した。国会では民営化を進めた国の責任などを質していくとともに、課題解決にむけ取り組みを進めると述べた。その後、鬼木まこと組織内議員も参加し、各グループで参加者と意見交換を行った。

2日目は、「会計年度任用職員を取り巻く状況と課題」、「現場実態に応じた安全衛生体制の確立にむけて」などの講座後、第五福竜丸展示館学芸員の市田真理さんを講師に「ビキニ事件と第五福竜丸」と題した講演が行われた。市田さんは、当時の新聞記事をもとに、水爆実験が及ぼした影響をはじめ、世界では多くの核実験が行われていることを述べ、「わすれないこと、学ぶこと、自分で考えること」が重要と参加者に呼びかけた。

最後に、前年度の担い手育成連続講座を受講した千葉市職の楠さんから「2023年度担い手育成連続講座に参加して」として、前年度に受講して以降、考え方の変化や現在の状況について述べ、参加者に何かきっかけを見つけたいとのべ、全行程を終了した。

(3) 各種学習会について

①職場改善にむけた学習会4～現業・公企統一闘争の推進にむけ～

現業評議会では、現業・公企統一闘争に取り組むにあたり、4月24日にウェ

ブ学習会を開催し、317人が参加した。学習会では、第1次闘争の取り組みを進めていくうえで、すべての単組が取り組むべき内容について提起がされた。あわせて、民間委託導入後におけるサービス水準の検証と分析が十分ではないことから、単組報告として島根県本部益田市現業労組より、委託導入後の取り組み事例が報告され、すべての単組での取り組みを要請した。

②職種別ウェブ学習会

現業職員の職種は数多く存在し、職種ごとで課題が異なることから、職種ごとの省庁要請の取り組みや各現場の意見交換、さらには今後の取り組みを進めるため、職種別ウェブ学習会を実施した。

(ア) 病院現場 (5月17日)

一般現業部会の濱田幹事(看護補助)から、厚生労働省の要請項目について説明や病院現場における看護補助の課題などについて説明がされた。

(イ) 保育現場 (5月23日)

一般現業部会の貫名部会長(保育調理)から子ども家庭庁に対する要請項目について、また、こども家庭庁の予算状況について現場実態が十分反映されていない点や今後の取り組みについて提起がされた。

(ウ) 清掃現場 (5月28日)

清掃部会の西村幹事(一部事務組合)から、廃棄物の歴史と将来の動向について述べ、清掃工場の現状と課題として、施設の建て替え費用の高騰への対応や労働災害ゼロにむけた取り組みについて提起がされた。

(エ) 介護現場 (6月12日)

一般現業部会の天本幹事(介護)から介護現場の現状と課題、課題解決にむけた厚生労働省の要請項目などについて説明がされた。

(別紙①)

【報告事項2】 2024 現業・公企統一闘争について

総務省要請行動 (4月16日)

自治労は、2024 現業・公企統一闘争の一環として4月16日に総務省交渉を実施した。自治労からは現業評議会川口議長、吉村事務局長、副議長・常任幹事会と、亀瀧労働条件局長が出席し、総務省からは、酒井自治行政局公務員部公務員課課長補佐他が対応した。(別紙②)

【報告事項3】 その他

Ⅲ. 協議事項

【協議事項 1】 地連報告について

※第 2 回幹事会で地連報告の集約は、第 1 回と第 2 回の年 2 回と確認したが、特筆すべき事項などがあれば、お願いしたい。

【協議事項 2】 2025 年度第 1 次政府予算要請行動について

前回の部会幹事会で確認した要請項目について 6 月 25 日に文部科学省に対し、要請行動を実施していく。その際に追加や口頭で対応する内容について検討したい。

(別紙③)

【協議事項 3】 学校用務員部会運動方針について

今年度については、中間年のため、現評総会は開催せず、8 月 24 日の第 1 回全国幹事会において、当面の闘争方針などについて協議していく。運動方針を確認し 1 年が経過したことから、部会としてどのような取り組みを行い、また十分でなかったのか、議論していきたい。そのうえで、今後の取り組みについて協議していきたい。(別紙④)

【協議事項 4】 災害時に現業職員が力を発揮するための 5 つの提言について

前回の部会で議論した災害時での現場から実践できる取り組みについて、議論したい。(別紙⑤)

【協議事項 5】 通信環境の整備について

第 1 回部会幹事会で確認した「通信環境の整備について」について必要な幹事に対しタブレットを本部から貸与しているが、今年度で終了とし、次年度から貸与できないため、7 月 19 日までに事務局に返却をお願いしたい。

(貸与者) 樋山 直寛 大河内 学

返却先：自治労現業評議会 吉村・唐牛 宛

住 所：〒102-8464 東京都千代田区六番町 1 自治労会館 5 階

【協議事項6】2025年度学校用務員部会体制について

2025年度学校用務員部会の役員体制を確認したい。部会長及び部会幹事については、8月24日（土）に開催予定の全国幹事会で承認を求めることとしている。そのため、7月末までに報告をお願いする。

役職名	選出地連	現役員名	新役員名	出身県本部
部会長	中国地連	森田 俊範		
幹事	北海道地連	樋山 直寛		
幹事	東北地連	大河内 学		
幹事	関東甲地連	照井 健太郎		
幹事	北信地連	岡本 竜介		
幹事	東海地連	伊藤 達生		
幹事	近畿地連	村上 誠		
幹事	中国地連	牧田 博史		
幹事	四国地連	佐々木 将来		
幹事	九州地連	甲斐 健悟		

【協議事項7】 当面の日程及びその他について

当面の日程

- (1) 第4回清掃部会（ウェブ）

2024年6月23日（日）13：00～17：00

- (2) 第4回一般現業部会（ウェブ）

2024年6月29日（土）9：00～12：00

- (3) 第4回学校給食部会（ウェブ）

2024年6月30日（日）13：00～17：00

- (4) 職種別ウェブ学習会（道路職場）（ウェブ）

2024年7月3日（水）18：00～19：30

- (5) 自治体現場力による質の高い公共サービスを実現する集会
（対面＋ウェブ）

2024年7月6日（土）13：00～16：00

- (6) 第4回県職現業部会（ウェブ）

2024年7月7日（日）13：00～17：00

(7) 第9回現業組織集会（対面）

2024年7月20日（土）～21日（日）

(8) 職種別ウェブ学習会（試験研究職場）（ウェブ）

2024年7月31日（水）10：30～19：30

(9) 2025年度第1回全国幹事会（対面＋ウェブ）

2024年8月24日（土）

その他